

令和6年4月吉日

保護者の皆様へ

大府市立共和西小学校長

滝川 初成

災害時に安全に登下校するためのお願い等（依頼及び連絡）

新年度を迎え、入学および進級おめでとうございます。保護者の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、大府市では登下校などに伴う安全の確保のために、以下の項目で通知及び配慮がなされています。13年前の東日本大震災では、想定外の災害という言葉が多々使われました。命を守る方法を、少しでも身に付けていけるように学校でも努力していきたいと思えます。

令和5年度4月1日より、従来とは運用が変更になっています。不測の事態に備えて、保護者の皆様と学校が手を携えて、大切なお子様の命を守れるようにしていきたいと思えます。この用紙を熟読の上、お子様とともに災害時にどうしたらよいかなどの話し合いをもってください、保管していただきますようお願いいたします。

- 1 暴風警報等が発表された場合（非常時）の対応について
- 2 警報等発令時の在校中の児童の引き渡しについて

暴風警報等が発表された場合（非常時）の対応について（通知）

大府市教育委員会

1. 「大府市」に、暴風警報・暴風雪警報・特別警報が発表された場合

（1）登校前に、暴風警報・暴風雪警報・特別警報が発表されている場合

- ◆午前6時30分までに警報が解除された場合は、平常どおり登校し、給食を実施する。
- ◆午前6時30分（午前6時30分含む。）の時点で警報が解除されていない場合は、当日の授業及び給食を中止する。
- ・警報が解除されて登校する場合も、通学路の冠水・河川の増水等により登校が危険なときや登校が困難な児童生徒は登校しなくてもよい。
- ・特別警報解除後は、災害の状況及び気象・通学路の状況等に係る情報収集に努め、児童生徒を安全に登校させようと判断できるまでは登校させない。

（2）登校後（在校中）に、暴風警報・暴風雪警報・特別警報が発表された場合

- ◆原則として速やかに下校させる。
- ・気象状況等によっては、教育委員会・校長会長との協議の上、決定する。
- ・状況によっては児童生徒の安全を校内において確保する。また、給食の実施について、教育委員会・校長会長・給食担当校長と協議の上、決定する。（給食の献立は平常と異なる場合がある。）
- ・特別警報が発表された場合は、災害の状況及び気象・通学路の状況等に係る情報収集並びに児童生徒の生命及び安全を確保する最善の対応（学校留め置き、外部の避難場所への移動、保護者への引き渡し等）を迅速に行う。

2. 「大府市」に大雨警報・洪水警報が発表された場合

（1）登校前に、大雨警報・洪水警報が発表されている場合

◆原則平常通りの授業を実施

- ・登校前、気象状況等によっては、教育委員会・校長会長との協議の上、休校することもある。
- ・通学路が危険な時や登校が困難な時は、保護者の判断で自宅待機させて学校へ連絡する。

（2）登校後（在校中）に、大雨警報・洪水警報が発表された場合

◆原則平常通りの授業を実施

- ・気象状況や通学路の状態から判断し、教育委員会・校長会長との協議の上、授業等を中止して速やかに下校させることもある。
- ・下校時に下校が危険と判断した場合は、安全に帰宅できると判断するまで学校に待機、もしくは、保護者に引き取りをお願いする場合もある。

3. 南海トラフ地震に関連する情報が発表された場合

◆原則平常通りの授業を実施

- ・南海トラフ地震に関連する情報を注視し、対応については、教育委員会・校長会長との協議の上、決定する。

4. 東海地震注意情報が発表された場合（東海地震を想定した「大規模地震対策特別措置法（昭和53年法律第73号）」が、現時点では廃止されていないため、この項目も残しています。）

（1）児童生徒が在校中の場合

- 〈小学生〉市内一斉引渡訓練の時と同じ方法で、準備が整い次第直ちに児童の引き渡しをする。
- 〈中学生〉自力または、引き渡しにより下校する。弟妹の引き取り者となっている場合は、引き取りに向かう。

（2）児童生徒が在宅中の場合

- ◆自宅待機とする。給食については、暴風警報・暴風雪警報・特別警報が発表された場合に準じる。

〈学校再開の条件〉

◆東海地震安心情報（警戒宣言に至らず）が発表された場合

◆警戒宣言が解除された場合

上記の場合、次の基準に従って登校する。

- ア. 午前6時30分までに安心情報発表または、警戒宣言解除された場合は、平常通り授業及び給食を実施する。
- イ. 午前6時30分（午前6時30分含む。）の時点で安心情報が発表されていない場合又は警戒宣言が解除されていない場合は、当日の授業及び給食を中止する。

5. 震度5弱以上の大地震が発生した場合

（1）児童生徒が在校中の場合

- ◆保護者が引き取りに来るまで学校で保護する。震度5弱以上の大地震が発生した場合は、中学生も含め、すべての児童生徒が引き渡しとなる。また、中学生は引き取り者にはなれない。

（2）児童生徒が在宅中の場合

- ◆自宅待機とする。震度5弱以上の大地震が発生した場合は、メールや電話での連絡ができない状況になることを保護者へ伝えておく。

6. 保護者の警報及び情報の確認方法について

(1) 暴風警報・暴風雪警報・特別警報の場合

- ・インターネット 名古屋気象台ホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/nagoya/>)
- ・地デジテレビ → dボタンにより気象情報が出る。
- ・国土交通省防災情報提供センター携帯サイト
(<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>)
- ・知多メディアスちたまる安全安心メルマガ(携帯)
→ 登録すると、警報等の情報が配信される。<http://www.chitamaru.jp/> にアクセスし、メニュー画面から「安心安全メルマガ」をクリックして登録画面に入る。

(2) 東海地震等大地震の場合

- ・テレビ・ラジオ等で発表される。

7. 学校情報発信システムについて

(1) 登校前

- ◆原則、学校情報発信システムによる発信はしない。事前に文書で保護者に周知しておき、各家庭での確認をしていただくようにする。

(2) 登校後

- ◆各学校判断で学校情報発信システムによる発信をしてもよい。市教委からは、発信しない。
- ◆給食を実施しない場合
 - ・市教委から発信する。その場合、学校情報発信システムに登録していない保護者には、学校から保護者連絡網等を通じて連絡のこと。
- ◆東海地震注意情報が発表された場合(子どもが学校にいる場合のみ)
 - ・情報が発表されたことのみ市教委が発信する。それ以外については、各学校判断で発信する。

8. 放課後クラブについて

- ◆暴風警報・暴風雪警報・特別警報・東海地震注意情報が発表された場合・震度5弱以上の地震が発生した場合は、放課後クラブは閉館とする。ただし、下校後で放課後クラブに受け入れられた児童については、放課後クラブで引き渡しをする。南海トラフ地震に関連する情報が発表されたときには、教育委員会と協議の上、決定する。

2 在校中の児童の引き渡しについて

※引き渡し表(家庭調査票の裏)にのせてある方が迎えに来てください。出迎えの方の追加変更のある場合は、年度初めの家庭調査票確認のときに変更をしてください。その後に変更があった場合は、連絡帳などで速やかに担任までご連絡ください。

「大府市」に下記の気象情報の「警報」が一つでも発表された場合

特別警報・暴風警報・暴風雪警報が発令された場合

⇒教室で引き渡し

それぞれのお子様の学級の教室へ迎えに来てください。

震度5弱以上の大地震が発生した場合

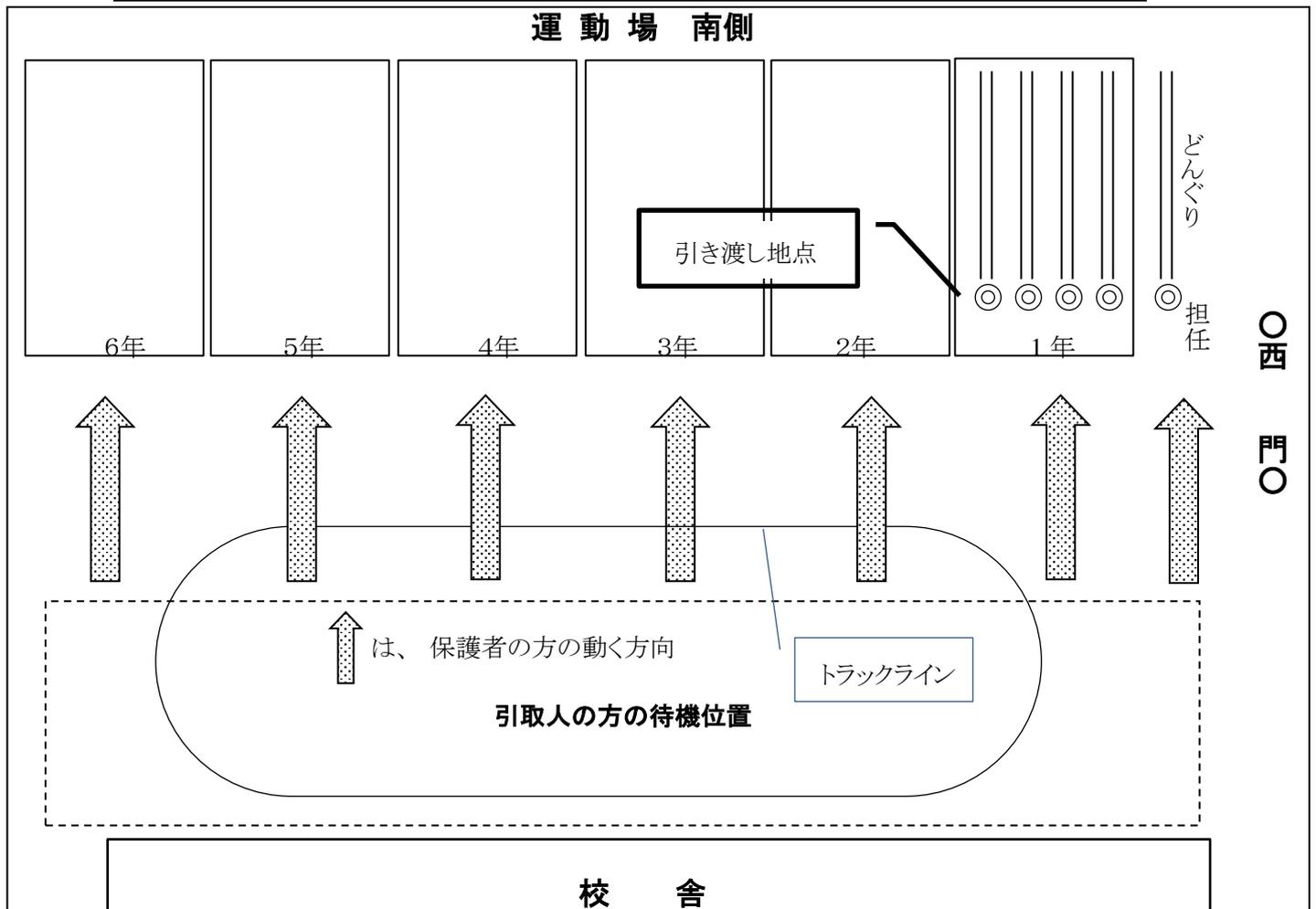
⇒運動場で引き渡し

※下記の要領で行います。ただし、天候や気温に応じて、安全を確認した上で、引き渡し場所を体育館等に変更する場合があります。

① 校内の児童の避難 → 運動場へ学級毎に整列集合

人員確認が整い次第、直ちに児童の引き渡しをします。

② 引き渡しの方法 下記の図のように並んで一人一人確認後に引き渡しをします。



- ・引取人の方は、待機場所にクラスごとに1列で整列してお待ちください。前の方の引取が済みましたら担任のもとへ行き、出迎えを確認の上、お子さまを引き渡します。
- ・上の学年から迎えに行きます。西門から帰宅してください。(ピロティは通りません)